

長崎純心大学 医療・福祉連携センター

学生・卒業生の声

全国調査

学生の感想

平成 27 年 3 月卒業（現代福祉学科） 岩田 真里亜

今回、全国規模の社会調査の企画段階から調査票作成、データの整理・分析等の作業に参加させていただき、社会調査を実践的に学ぶ機会に恵まれました。特に、調査票作成段階では、現場の先輩へのプレテストを重ねながら慎重に調査項目を検討することで、調査項目の精度が高まっていくのを実感できました。また、収集されたデータを整理する作業では想像以上に細やかな配慮が必要であったことも学びました。大変な仕事でしたが、データが公表されて全国の地域包括支援センターの現状分析や課題解決の一助になればと思っています。自分たちがお手伝いできたことを誇りに思っています。

平成 27 年 3 月卒業（現代福祉学科） 竹内 亜梨紗

現在、私は、地域包括ケアシステムの推進に関する調査研究に携わらせて頂いています。地域包括ケアの推進に資するための社会調査を通して得られたデータを正確な情報として分析し、公表するために必要となる調査目的の設定、質問紙の作成、コーディング、データ入力、データクリーニング等を経て統計分析を行うまでの一連の社会調査のプロセスに実践的に参加することを通して、社会調査の実施に求められる調査主体の在るべき姿勢について実践的に学ぶことができました。

今回、私たちが携わらせて頂いた調査研究によって、これからの医療と福祉との有機的な連携が実現し、地域包括ケアの推進に少しでも寄与することができれば良いなと思っております。